

署名のお願い

私たち「Children first」は国で決めた計画的避難区域の設定基準である、20mSv は子どもたちや、これから子どもたちを産み育てる女性にとっては、あまりに高い数値ではないかと疑問を持ち、国や県に対しその見直しを求め要望活動に立ち上がった団体です。

20mSv は本当に安全か??

ロシアのチェルノブイリの原発事故では、周辺地域のみならず **5mSv/年**以上の地域については強制退去となりました。

文部科学省の委託を受け、低線量の被曝について10年間の追跡調査を行ってきた放射線影響研究所では因果関係は証明できないが、自然界からの放射線のみを受けた人たちと、低線量の被曝を長期に渡り受けた人々の間では、10mSv を境に有意差が見られると結論付けています。

山下教授の講演会の説明は本当に正しいのか??

山下教授は「100mSv までは健康リスクはゼロ。1mSv で1秒間にDNAが一個傷つく程度。だから健康影響はありません。マスクは全く意味がありません。だからする必要はありません。」などと講演会で発言を続けてきました。ところが、3月25日付長崎新聞のインタビュー記事では大変恐ろしい事が起きている、子供や女性を中心に逃がさなければならないと答えています。また、山下教授自身が10mSvで健康影響が表れる、低線量でも現れる、特に子供達は感受性が高いと講演会で発言しています。

健康管理調査は県民の健康を担保するもの??

福島県においては健康管理調査を全県民対象に実施するとしていますが、全県民対象になるのは、現在のところ問診のみで、その後については全く不透明の状況です。私たちの子どもや孫の健康を守るためにも、全県民対象に血液検査、尿検査、頭髪検査、ホールボディカウンター、甲状腺エコーなどの実施を求めてもらいたいと考えています。

福島県の子どもたちを守るために以上の理由により、署名活動を行いますので、ご協力をお願い致します。第一次集約は7月25日到着分までとします。

その後も集約は続けますのでよろしくお願い致します。

Children first 代表幹事

吾妻祥彦、石原信市郎、橘内芳雅、煙山享、作田謙太郎、佐々木慶子、佐藤卓立、佐藤仁志、真田広志、荘司信行、丹治仁志、古市三久 他

大変お手数でも集まりました署名用紙につきましては下記までご郵送頂ければ幸いです。

960-2102 福島市荒井北3-10-3

「Children first」事務局長 石原信市郎 副事務局長 橘内 芳雅

連絡先 yoshimasa_k_for_god@agate.plala.or.jp FAX 024-523-2493 石原宛